
サンバッタ激誕の秘密

台風X号

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

サンバッタ激誕の秘密

【Nコード】

N47450

【作者名】

台風X号

【あらすじ】

残酷な始まりがサンバッタを変えた。

三人の大学生は、一匹のバッタを捕まえて喜んでいた。

「こいつを使えば地球環境保護の道具にできるかも。」

三人は、一人の家の研究室に入り込んだ。

バッタは、嫌がっていた。

「おい、君達そろそろ休もうぜ！」

三人の大学生は、明日の改造のために寝た。

バッタは、次第に三人の大学生に殺意という狂気がとりつき始めていた。

つまり、バッタの心が壊れてしまったのである。

翌日、バッタの改造が始まった。

バッタは、心を壊され、肉体壊され、精神壊されたあげくに肉体をサイボーグ化させられていることに気がついた。

「なんで・・・なんで・・・なんで僕がこんな目にならなきゃいけないんだよー！」

バッタは、背中についているソーラーパネルを見た。

「何だこれは・・・殺す。殺してやる糞な人間共！」

そのバツタの瞳は、狂気に染まり死んでいた。

ソーラーパネルは、光を吸収していた。

「ダメだ。このままではバツタが焦げてしまう。」

しかし、焦げる前にためた分だけを発射して、家の2階を破壊した。

一人の大学生は、左手に家の二階の破片が刺さっていた。

「逃げよう。」

「ああ、逃げないと殺される。」

大学生3人は、必死に逃げた。

一人は、サンバツタに見つかり、ソーラーパネルのパワーで焼殺された。

もう一人は、サンバツタが、スペルカードで太陽の光を鋭い刃物に変えて、殺害した。

最後の一人は、金属の棒でサンバツタを殺そうとしたが、太陽のシールドで塞がれた。

そして、サンバツタは、触覚でその者を切り裂いて殺した。

三人の死体は、のちに警察に見つかったが殺害構築が不明と言うこ

とで闇に葬られた。

そのあと、闇幻想郷にやってきたサンバッタは、人間の血を大量に浴びながら嘲笑った。

サンバッタは、呪われていた。

しかし誰も彼に近づけない。

その悲しみを超えていきたいそのためには、自分と似ても似つかぬ狂気を持つ者と一緒に生きていたい。というサンバッタの欲望が現れて、サンバッタは、涙を流した。

サンバッタのテーマ曲、呪われたバッタ〜human solar
the killer

この小説のテーマソング、太陽爛蟲、人絶ノ刹。

（後書き）

どうでしたか、ホラー感覚がありすぎて怖い感じになったと思いますか？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4745o/>

サンバッタ激誕の秘密

2010年10月24日00時20分発行